

ITU-R WRC-15（2015年世界無線通信会議）の結果概要

1. 概要

日時： 平成27年11月2日（月）～27日（金）

場所： スイス（ジュネーブ）

参加者： 162カ国から約3,800名が参加。日本からは、総務省、民間事業者など約80名が参加

2. ITU-R SG4及びSG7担当議題の結果

SG4及びSG7関連の主な議題の結果は、以下のとおり。

議題1.6.1 第一地域における10-17 GHz帯における固定衛星業務への追加一次分配の検討（WP 4A）

- ・ 13.4-13.65GHz（宇宙から地球）については第一地域においてFSSへの新規分配
- ・ 14.5-14.75GHz（地球から宇宙）についてはFSSの分配について、第一・二地域においてBSSフィーダリンクに限定しない（地球局を設置できる国を限定）

議題1.6.2 第二及び第三地域における13-17 GHz帯における地球から宇宙方向の固定衛星業務への追加一次分配の検討（WP 4A）

- ・ 14.5-14.8GHz（地球から宇宙）については第三地域においてBSSフィーダリンクに限定しない（地球局を設置できる国を限定）

議題1.7 （非静止軌道移動衛星業務のフィーダーリンクに限定された）固定衛星業務による5091-5150 MHz帯の使用の見直し（WP 4A）

- ・ 脚注5.444A中のFSSの使用期限を削除。

議題1.8 船上地球局（ESV）に関連する規定の見直し（WP 4A）

- ・ 脚注5.457Aを改訂し、C帯においてアンテナ径が1.2mの場合は離隔距離を330kmとした。
- ・ 決議902は変更しない。

議題1.9.1 7150-7250 MHz帯（宇宙から地球）及び8025-8400 MHz帯（地球から宇宙）における固定衛星業務への新分配（WP 4A）

- ・ 新規分配なし（RR変更なし）

議題1.9.2 海上移動衛星業務への7375-7750 MHz帯及び8025-8400 MHz帯の分配の可能性の検討 (WP 4C)

- ・ 7375-7750 MHz帯について、MMSS (宇宙から地球) へ新規分配。(地上業務へ保護を求めない、将来の発展を妨げない制約つき)
- ・ 8025-8400 GHz帯については、分配なし。

議題1.10 22-26 GHz帯の一部において、広帯域アプリケーションのための衛星コンポーネント、及びIMTを含む、地球から宇宙及び宇宙から地球方向における移動衛星業務の追加周波数分配 (WP 4C)

- ・ 新規分配なし (RR変更なし)

議題1.11 7-8GHz帯における地球探査衛星業務 (地球から宇宙) への分配 (WP 7B)

- ・ 7190-7250MHzをEESS (地球から宇宙) に新規分配

議題1.12 8700-9300MHz帯及び/または9900-10500MHz帯における地球探査衛星業務 (能動) への周波数分配 (600MHz幅) (WP 7C)

- ・ 9200-9300MHz及び9900-10400MHzをEESS (能動) に新規分配
- ・ 9900-10400MHz帯について固定業務を保護するためのpfd制限を設定

議題1.13 有人宇宙船間通信の利用拡大に関する議題 (WP 7B)

- ・ RR脚注5.268の距離制限及び本帯域の船外活動への使用制限の削除

議題1.14 協定世界時 (うるう秒調整) の見直し (WP 7A)

- ・ RR変更なし。うるう秒廃止については、賛否が分かれ、WRC-23までに結論を出すことを合意

3. 次回WRC (WRC-19) のSG4及びSG7担当又は関係議題

SG4及びSG7担当又は関係するWRC-19議題は、以下の11件。

- ・ 議題1.2 401-403 MHz及び399.9-400.05 MHzにおけるMSS/METSS/EESSにおいて運用される地球局の電力制限 (WP7B)
- ・ 議題1.3 460-470MHzに2次業務に分配されている気象衛星業務 (地球から宇宙) の1次業務への格上げ及びEESS(地球から宇宙) への一次分配 (WP7B)
- ・ 議題1.4 APPENDIX 30 ANNEX7の見直しに関する議題 (WP4A)

- ・ 議題1.5 FSSにおける静止軌道上の宇宙局と通信する移動する地球局による17.7-19.7 GHz (宇宙から地球) 及び27.5-29.5 GHz (地球から宇宙)の利用 (WP4A)
- ・ 議題1.6 37.5-39.5 GHz (宇宙から地球)、39.5-42.5 GHz (宇宙から地球)、47.2-50.2 GHz (地球から宇宙) 及び50.4-51.4 GHz (地球から宇宙) の非静止軌道FSSの技術・運用・規則条項の検討 (WP4A)
- ・ 議題1.7 短期間運用されるNGSO衛星のためのSOSの検討 (WP7B)
- ・ 議題7 衛星ネットワークに係る周波数割当てのための事前公表手続、調整手続、通告手続及び登録手続の見直し (WP4A)
- ・ 課題9.1.1 1 885-2 025 MHz 及び 2 110-2 200 MHzにおけるIMT の実装 (WP4C/WP5D)
- ・ 課題9.1.2 第一地域及び第三地域における1 452-1 492 MHzのIMTとBSSの両立性 (WP4A/WP5D)
- ・ 課題9.1.3 固定衛星業務に分配済みの3 700-4 200 MHz、4 500-4 800 MHz、5 925-6 425 MHz及び6 725-7 025 MHz帯におけるNGSOシステムの技術、運用課題、規則条項の検討 (WP4A)
- ・ 課題9.1.9 51.4-52.4 GHz (地球から宇宙)におけるFSS新規分配の検討 (WP4A)

4. 次々回WRC (WRC-23) のSG4及びSG7関係仮議題

SG4及びSG7関連のWRC-23仮議題は、以下の3件。

- ・ 議題2.2 45MHz付近の宇宙レーダーサウンダーのためのEESS(active)の分配の可能性
- ・ 議題2.3 宇宙天気センサーの周波数需要及び保護
- ・ 議題2.4 37.5-39.5 GHz帯における周波数要求及びFSSの分配可能性

国際電気通信連合 (ITU) 2015 年世界無線通信会議 (WRC-15) の結果

平成 27 年 (2015 年) 11 月 2 日から 11 月 27 日までの間、スイス (ジュネーブ) において、国際電気通信連合 (ITU) 2015 年世界無線通信会議 (WRC-15) が開催されました。ついては、主な会合結果について以下のとおり発表いたします。

1 会合概要

- (1) 日 時 : 平成 27 年 11 月 2 日 ~ 11 月 27 日
- (2) 場 所 : スイス (ジュネーブ)
- (3) 目 的 : 「国際的な周波数分配」について各国間での調整を目的として開催。
- (4) 参加者 : 162 カ国から約 3,800 名が参加。我が国からは、総務省・民間事業者・研究機関などから約 80 名が参加。

2 主な審議結果

- (1) IMT (International Mobile Telecommunications) への周波数帯の追加特定
- (2) 衛星を活用した無人航空機システム導入のための周波数分配
- (3) 協定世界時 (うるう秒調整) の見直し
- (4) 自動運転の実用化を加速する 79GHz 帯レーダーへの周波数分配
- (5) グローバルフライトトラッキング (人工衛星を利用した「民間航空機追跡システム」) の導入
- (6) 次回 WRC-19 の主要議題
 - 「5G 導入に向けた国際周波数分配」
 - 「275GHz 以上の周波数帯への能動業務の導入」
 - 「ITS 用周波数の世界的調和」
 - 「ワイヤレス電力伝送 (WPT) に利用される周波数関連事項と規制」

なお、会合の結果概要については、別紙のとおり。

<関係報道資料>

国際電気通信連合 (ITU) 無線通信総会 (RA-15) 及び世界無線通信会議 (WRC-15) の開催 (平成 27 年 10 月 23 日)

URL: http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin04_02000059.html

連絡先

総合通信基盤局 電波部 電波政策課

国際周波数政策室

担当：岩間課長補佐、松田国際政策係長

電話：03-5253-5878

FAX：03-5253-5883

E-mail：wrc-15@ml.soumu.go.jp

(注) 迷惑メール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。